

# 第3学年国語科 学習指導案

2014年11月6日(木) 2校時  
3年1組(男子13名 女子12名 計25名) 本時 2/11  
授業者 酒井尚子

- 1 **単元名** はたらく犬について調べよう  
**教材名** 「もうどう犬の訓練」 (東京書籍3年下)

## 2 単元の目標

- 働く犬について図鑑や科学読み物などを使って調べたいという意欲を持ち、解決の手掛かりとなる本や文章を読もうとすることができる。(関心・意欲・態度)
- 働く犬について知りたいことを調べ、「はたらく犬 ものしりカード」にまとめるために必要な情報は何かを考えながら読み、要約することができる。(C 読むこと (エ))
- 指示語や接続語を手掛かりに文や段落相互の関係をとらえて、文章を読むことができる。(言イ (ク))

## 3 単元について

### (1) 単元観

#### ①本単元で取り上げる主な指導事項

小学校学習指導要領・国語の第3学年及び第4学年「C 読むこと」の指導事項「エ 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。」を取り上げて指導する。

#### ②単元を貫く言語活動とその特徴

「C 読むこと」の言語活動例「オ 必要な情報を得るために、読んだ内容に関連した他の本や文章などを読むこと。」を具体化した「働く犬について知りたい情報を得るために関連した本を読み、必要な情報を要約して「はたらく犬 ものしりカード」にまとめて読み合う。」という言語活動を位置付ける。

ここで取り上げる「はたらく犬 ものしりカード」は、自分が知りたい働く犬の疑問の答えとなる必要な情報を、関連した本の中から集め、要約するものである。並行読書を行うことで、児童は自分が知りたいと思った働く犬について書かれた本を選んで読んでいく。その際、知りたいことの答えを探しながら本を読んでいくことで「必要な情報を得るために、読んだ内容に関連した他の本や文章などを読むこと」(C読むこと オ)を確実に実現できるようにしている。また、必要な情報を要約して「はたらく犬 ものしりカード」にまとめることにより、知りたい課題に応じて興味をもったことをはっきり説明するために、中心となる文や要約に必要な言葉をとらえることで、要約する力がつくと考え。したがって、本単元でねらう「目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること」(C読むこと (エ))を実現するのにふさわしい言語活動である。

今までの並行読書は、教師が「ものしりカード」を作るために必要であろうと思う本を選び、子どもたちは与えられた本の中から自分が読みたい本を選び読んでいたが、本単元では、自分に必要な本が図書室のどこにあるかがわかり、自分でみつける活動も入れている。そうすることで、子どもたちが、図書館を活用できる能力を身に付け、主体的に学ぶ態度に繋がっていくと考える。

本教材は、段落のまとまりがはっきりしていて、犬が盲導犬になるまでの訓練について、順序よく説明されている文章である。文章構成は、はじめ(盲導犬についての説明)→中(盲導犬の訓練の具体例)→おわり(筆者の考えのまとめ)というようになっている。また、それぞれの訓練について、訓練の意味を納得しながら読み進められるようになっており、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、要約することに適した教

材である。児童は、並行読書をすることで働く犬について「もっと知りたい」という思いを抱くであろう。そのため、図鑑や科学読み物などのたくさんの文章の中から知りたいことを意欲的に探すことが期待される。教材文でつけた要約する力を使って言語活動を行うことにより、二次で習得した要約する力を三次で活用することができると考える。

## (2) 児童観

本学級の児童は、5月「自然のかくし絵」において、中心となる語をおさえて、「はじめ」「なか」「おわり」の文の構成を確認し、カードにまとめる際に必要な言葉や文型をおさえられるように学習をした後、並行読書をした本や図鑑に書かれている内容をカードにまとめる言語活動を行ってきた。また、「ゆうすげ村の小さな旅館」では、物語全体のあらすじをまとめる学習をしており、自分が伝えたい大事な出来事を選んだり、短い言葉で言い換えたりする経験をしてきている。児童は、意欲的に学習に取り組み、カードに自分が必要だと思う文や言葉を見つけることはできるようになってきたが、読んだ本などの中から必要な情報を読み取り、短くまとめることは十分にできていない。原因としては、教材文をそのまま抜き出したり段落相互が結びつくように接続語を使うことを意識させたりすることができていないと考えられる。

4月実施の標準学力調査「物語の内容を読み取る」の結果を見てみると、全国平均を4.4ポイント、「ことばの学習」では、3.8ポイント下回っていた。また、「カードと文章を読み取る」ことにも弱さが見られた。

読書については、朝読書や給食の待ち時間などを利用して、継続した読書活動を行っている。児童が読む本の種類は、物語や図鑑などが多く絵本を読んでいる児童も少なくない。これらの本は、図書室で借りている場合もあるが、学級文庫の本を読んでいることが多い。そこで、子どもたちの読書の幅を広げるためにも、図書室を利用して色々な種類の本の中から本選びができるようにさせたい。

## (3) 指導観

第一次では、ペットとして飼われている犬と働く犬の写真を提示し、児童の興味や関心を高め、教師自作の「はたらく犬 ものしりカード」を紹介する。モデルを示すことで、並行読書をしながらかく犬について自分が知りたいことを調べ、カードに答えを短くまとめる(要約する)という言語活動のイメージをもたせ、作成したカードを友だちと読み合うという学習の見通しがもてるようにする。また、教材文の題名から盲導犬について知りたいことを考えさせ、第二次の学習の意欲につなげる。

第二次では、盲導犬について知りたいことが文章のどこにあるかをはっきりさせるために、教材文をはじめ、中、おわりに分け、おおまかな構成をつかむ。そして、「人間の言うことに従う訓練」、「人を安全に導く訓練」について興味をもった児童の発言をきっかけとして、接続語や指示語、興味をもったことをはっきり説明するための中心となる文や、カードに書くために必要な言葉に着目して要約させる。その際、カードに必要な言葉や削除する言葉に線を引かせたり、つなぎ言葉が必要なときは書き加えたりすることで学習の手助けとする。このように、盲導犬について知りたいことに対する答えを教材文から要約することで、「もうどう犬 ものしりカード」に必要な言葉や文を見つけながら読み、要約する力をつけ、第三次の学習につなげる。また、並行読書で、自分が選んだ働く犬のどんなことについて知りたいかをノートに書かせておく。

第三次では、並行読書で選んだ本の中から、「はたらく犬 ものしりカード」を作る上で必要な情報を取り出し、知りたいことが書かれているところを見つけ、さらにその中から大事

な言葉や文を選び短くまとめ「はたらく犬 ものしりカード」を作成する。最後には、作成したカードを読み合い、学年で交流するようにする。出来上がった「はたらく犬 ものしりカード」は図書室に置いて他の学年にも見てもらうようにする。

#### (4) 研究テーマとの関連

主体的に児童が学ぶためには、児童自身が単元を通して学ぶ目的を持ち、見通しを持って言語活動を進めていく展開にしていく必要がある。そこで、導入ではペットや働く犬の写真を提示したり、並行読書の本を紹介したりすることで児童の意欲を高める。また、教師が書いた「はたらく犬 ものしりカード」の例を見せることで、単元のゴールイメージを具体的に示し、単元全体の学習の見通しを持たせる。児童は、与えられた指示に従って学習を進めていくのみではなく、自分が知りたい働く犬について並行読書で探しながら、カードに答えを要約するために必要なことは何かを意識して、主体的に学習を進めていくと考えられる。

#### 4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	・働く犬について図鑑や科学読み物などを使って調べたいという意欲を持ち、解決の手掛かりとなる本や文章を読もうとしている。
読む能力	・働く犬について知りたいことを調べ、「はたらく犬 ものしりカード」にまとめるために必要な情報は何かを考えながら読み、要約している。(エ)
言語についての 知識・理解・技能	・指示語や接続語を手掛かりに文や段落相互の関係をとらえて、文章を読んでいる。イ(ク)

#### <言語活動のモデル「はたらく犬 ものしりカード」>

The diagram illustrates the model of a 'Working Dog Information Card'. It consists of two main parts: a question card and an example card.

**Question Card:** On the left, there is a drawing of a dog. To its right, a text box contains the question: 「もうどう犬になる犬は、一ヶ月になるまで、どうやって育てられるのか。」 (How long will it take for a dog to become a working dog, and how will it be raised until it is one month old?). To the right of the text box is the title 「はたらく犬のものしりカード」 (Working Dog Information Card).

**Example Card:** This card provides an answer to the question. It includes the following information:
 

- 調べた人 (Person who researched):** 松岡 舞 (Matsukawa Mai)
- 本がある所 (Where the book is):** 三年教室前 (In front of the 3rd grade classroom)
- 本がある所 (Where the book is):** 多目的ホール (Multi-purpose hall)
- 調べた本 (Book researched):** 「社会でかつやくするイヌたち 盲導犬」 (Inu-tachi ga shakai de katsuyaku suru itachi: kōdōken) by すぎき 出版 (Sugiki Shuppan), published in 2009.
- 疑問に対する答え (Answer to the question):** 「もうどう犬になる犬は、生まれて二か月前に飼育ボランティアとよばれる人の家で、飼育ボランティアとよばれる人の子犬は、人間の子どものように家族といっしょにすくしながら、かわいがられて育ちます。」 (Working dogs are born and raised in the homes of volunteer breeders for about two months before being taken to the homes of people who breed them. Like human children, they are raised together with their families and cared for.)

Speech bubbles indicate the process: 「自分が抱いた疑問とはたらく犬の絵をかく。」 (I wrote down the question I had and a drawing of a working dog.) and 「疑問に対する答えを要約して書く。」 (I summarized the answer to the question.)

- ・調べた人
- ・本がある所
- ・調べた本の情報（本の題名、出版社、発行年）も合わせて書く。

## 5 単元構想図

### 単元を貫く言語活動

働く犬について知りたい情報を得るために関連した本を読み、必要な情報を要約して「はたらく犬 ものしりカード」にまとめて読み合う。

#### ◇学習の流れ

##### 第一次

- 「はたらく犬 ものしりカード」のモデルを見て、働く犬への興味を持つ。
- 「はたらく犬について調べたことを要約して、ものしりカードにまとめよう」という学習のめあてをもつ。
- 「はたらく犬ものしりカード」を作るために必要な本を自分で探し選ぶ。

##### 第二次

#### 並行読書

- 教材文を通読し「はじめ」「中」「おわり」にわけ、大まかな構成をつかむ。
- 「人間の言うことに従う訓練」「人を安全に導く訓練」を接続語や指示語、興味をもったことをはっきり説明するための中心となる文や、カードに書くために要約する際、必要な言葉に着目し要約する。
- ものしりカードの構成を確認し、自分が疑問に思ったことの答えを要約してカードに書く。

##### 第三次

- 選んだ本の中から、「はたらく犬 ものしりカード」をつくる上で必要な情報を取り出す。
- 自分の書きたいはたらく犬の「はたらく犬 ものしりカード」を作る。
- 友だちと「はたらく犬 ものしりカード」を読み合い、感想を交流する。

#### ◇意識の流れ

##### 【児童の実態】

読んだ本などの中から必要な情報を読み取り、短くまとめる力が弱い。

- ・働く犬って何だろう。
- ・「はたらく犬ものしりカード」を作りたいな。
- ・図書室で本をさがそう。
- ・(盲導)犬について知りたいことを書こう。

- ・自分の知りたいことは、文章のどこにあるのだろう。
- ・どんな訓練をするのかな。
- ・カードに必要な言葉は何だろう。
- ・教材文の中から答えを見つけて要約しよう。

- ・本や図鑑には知らないことがたくさん書いてあるな。
- ・身に付けた方法でものしりカードに要約することができたよ。
- ・要約した文章は、知りたいことの答えになっているかな。
- ・〇〇さんのカードは、上手に要約できているな。

#### 単元で付けた力

- ・目的に応じて自分で本を探し、選んだ本の中の必要な文章を要約する力。

## 6 指導計画及び評価計画（全11時間）

	時	学習活動	主な評価規準
第一次	1	<p>これからの学習のめあてを知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「はたらく犬 ものしりカード」のモデルを見る。</li> <li>・学習計画を立てる。</li> <li>・教材文の題名から盲導犬について知りたいことを考える。</li> </ul>	<p>【関】「はたらく犬ものしりカード」を作ることに興味を持つ。</p> <p>(発言・行動・ノート)</p>
	2 (本時)	<p>はたらく犬について書かれた本を、自分でさがそう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「分類」について知る。</li> <li>・自分が知りたい働く犬についての本を選ぶ。</li> <li>・探した本を読む。</li> </ul>	<p>【関】 必要な本が、図書室のどこにあるか 自分で探し、読もうとしている。</p> <p>(発言・行動)</p>
第二次	3	<p>教材文を「はじめ」「中」「おわり」に分けよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材文を「はじめ」「中」「おわり」にわけ、大まかな構成をつかむ。</li> <li>・並行読書をする。</li> </ul>	<p>【言】 指示語や接続語を手掛かりに文や段落相互の関係をとらえて、文章を読んでいる。</p> <p>(発言・ノート・教材文)</p>
	4	<p>「人間の言うことに従う訓練」を要約しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「人間の言うことに従う訓練」について書かれている段落を音読する。</li> <li>・どんな訓練か説明するために中心となる文や自分のカードに必要な言葉を見つける。</li> <li>・「人間の言うことに従う訓練」について、要約する。</li> <li>・並行読書をする。</li> </ul>	<p>【読】 カードを書くために自分が必要な言葉に着目し、「人間の言うことに従う訓練」を要約している。</p> <p>(発言・ノート・教材文)</p>
	5	<p>「人を安全にみちびく訓練」を要約しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「人を安全に導く訓練」について書かれている段落を音読する。</li> <li>・どんな訓練か説明するために中心となる文や自分のカードに必要な言葉を見つける。</li> <li>・「人を安全に導く訓練」について、要約する。</li> <li>・並行読書をする。</li> </ul>	<p>【読】 カードを書くために自分が必要な言葉に着目し、「人を安全に導く訓練」を要約している。</p> <p>(発言・ノート・教材文)</p>
	6	<p>もうどう犬について知りたいことの答えを要約しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・盲導犬について知りたいことをもとに答えを教材文の中から要約し、ノートにまとめる。</li> <li>・要約した文を全体で交流する。</li> </ul>	<p>【読】 知りたいことの答えを教材文から見つけ、言葉を書き換えたり、補ったりしながら要約している。</p> <p>(発言・ノート・教材文)</p>

	7	<p>「もうどう犬 ものしりカード」にまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・盲導犬について知りたいことをもとに答えを教材文の中から要約し、「もうどう犬 ものしりカード」にまとめる。</li> <li>・班で交流する。</li> </ul>	<p>【読】 知りたいことの答えを教材文から見つけ、「もうどう犬 ものしりカード」にまとめている。 (もうどう犬 ものしりカード)</p>
第三次	8	<p>「はたらく犬 ものしりカード」に必要な文や言葉を見つけよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「はたらく犬 ものしりカード」に必要な文や言葉に線を引く。</li> <li>・交流する視点を意識し、ペアで交流する。</li> </ul>	<p>【読】 本や文章から見付けた疑問や課題を解決するために読みたい内容と関連する他の本や文章を探して読んでいる。 (行動・ノート)</p>
	9 ・ 10	<p>「はたらく犬 ものしりカード」を作ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「はたらく犬 ものしりカード」の書き方を確認し、書く。</li> <li>・グループで交流し、感想を伝えあう。</li> </ul>	<p>【読】 調べて分かったことを整理して要約し「はたらく犬 ものしりカード」にまとめている。 (はたらく犬 ものしりカード)</p>
	11	<p>「はたらく犬 ものしりカード」を読み合い、感想を交流しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流の仕方を確認する。</li> <li>・友だちと「はたらく犬 ものしりカード」の交流をする。</li> </ul>	<p>【関】 働く犬に興味をもって読んだり、進んで感想を伝えようとしていたりしている。 (発言・付箋)</p>

## 7 学習の展開

### 第一次 2時間目 (2/11)

(1) 目標 「はたらく犬ものしりカード」を書くために必要な本を、学校図書館の棚から、自分で探し読むことができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>はたらく犬について書かれた本を、自分でさがそう。</p> </div>	
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 自分が知りたい働く犬についての本を探す。</p> <p>(2) 「分類」について説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本選びの見通しをもつ。</li> <li>・学校図書館のどこにあるか見当をつけて本を探す。</li> <li>・探した本を発表する。</li> </ul> <p>(3) 探した本を読む。</p> <p>(4) 今日の活動についての振り返りをする。</p>	<p>○自由に探させる。</p> <p>○学校図書館の書棚はどのように整理されているか考えさせる。</p> <p>○どこの書棚を探せばよいか、見通しをもたせる。</p> <p>○「働く」に着目させ、「仕事」に結びつくように、話し合いが活発にできるようにする。</p> <p>○分類をもとに、目的をもって探すことを意識させる。</p> <p>○探した本がどこにあったか全体で確認できるようにする。</p> <p>☆「はたらく犬ものしりカード」を作ることに関心を持ち、自分が読む本を選び、読もうとしている。</p> <p>○学級文庫にも「はたらく犬」コーナーを設け、自由に読み進める環境を用意し、並行読書への意欲付けを図る。</p> <p>※めあてに沿って学校図書館の利用・本選びについての振り返りができるように支援する。</p> <p><b>【関】</b> (発言・行動・ノート)</p>
<p>3 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>家庭学習 「はじめ」「中」「終わり」を意識して全文を音読してくる。</p> </div>	<p>○次時は、教材文を「始め」「中」「終わり」の3つに分けることを知らせる。</p> <p>○自分たちが選んだ本を、並行読書していくことを知らせる。</p>

(3) 評価規準

B 概ね満足できる状況

◆働く犬について書かれている本を、図書室の棚から自分で探し、読むことができる。

A 十分満足できる状況

◆働く犬について書かれている本を、図書室の棚から自分で探し、目次や索引から必要なところを見つけて読むことができる。

(4) 板書計画

